

# 地球温暖化対策技術開発事業（競争的資金）

（担当：地球環境局地球温暖化対策課）

19' 予算額33億円

## 目的・意義

更なる温室効果ガス削減のためには、既存の対策技術に加え、新たな対策技術の開発・実用化・導入普及を進めていくことが必要不可欠です。そこで、実用的な温暖化対策技術の開発について、公募により選定した民間企業等に委託又は補助して行います。

## 事業内容

以下の技術開発分野ごとに実用的な温暖化対策技術の開発について、**優れた技術開発の実施に係る提案と実施体制を有する民間企業等を公募により選定し**、委託又は補助して行います。

### 1. 省エネ対策技術実用化開発【委託】

省エネ対策技術の実用化を目指した**先導性・先見性が高い技術開発・実証**を行います。

- (1) 重点テーマ 「家庭における消費エネルギーの総合的な低減のための情報システム技術及びエネルギー管理技術の開発」
- (2) 自由提案  
(1)のほか、例えば、住宅やビルにおける効果的な有意義、有望な省エネ対策技術を対象とします。

### 2. 再生可能エネルギー導入技術実用化開発【委託】

再生可能エネルギーの導入技術の実用化を目指した**先導性・先見性の高い技術開発・実証**を行います。

- (1) 重点テーマ 「草木質系バイオマスエネルギー利用技術、及び持続可能型地域バイオマス利用システム技術の開発」  
「安全な革新的水素貯蔵・輸送技術の開発」
- (2) 自由提案  
(1)のほか、再生可能エネルギーの利用拡大につながる有意義・有望な対策技術を対象とします。

### 3. 都市再生環境モデル技術開発【委託】

都市の特性を踏まえた**先導性・先見性が高い地球温暖化対策に係る技術開発・実証**を行います。

- (1) 重点テーマ 「エネルギーの面的利用で飛躍的な省エネの街を実現する都市システム技術の開発」
- (2) 自由提案  
(1)のほか、都市再生につながる省エネ対策技術又は再生可能エネルギー導入技術に係る有意義・有望な地域モデルの技術開発・実証を対象とします。

### 4. 製品化技術開発【補助】

技術開発委託事業の成果等により**製品化が十分に期待出来る地球温暖化対策技術に係る技術開発**を行います。

- (1) 重点テーマ 「太陽熱を補助熱源とする住宅用ハイブリッド型給湯システムの製品化技術の開発」
- (2) 自由提案  
新たな地球温暖化対策技術の製品化につながる有意義・有望な技術開発・実証を対象とします。

## 委託・補助内容

1. 対象者：民間企業、公的機関、大学等
2. 対象事業：実用的な温暖化対策技術開発
3. 負担割合：1.～3.については、国からの委託事業
- 4.については、総事業費の1/2を補助

|          |       |
|----------|-------|
| ← 総事業費 → |       |
| 環境省      | 民間団体等 |
| 1/2 (最大) | 1/2   |